

みんなの学校

- 地域とともにある学校づくり・まちづくり -

次年度へ繋ぐバトン

R7→R8

— 学校を核にした「まち」づくりへ —

2月14日(土) 10:00から、蒲郡中で「第3回蒲中学区学校運営協議会」が開催されました。

令和7年度を学校評価とともに振り返り、次年度の蒲中CSの学校運営等について協議しました。

【伊藤代表校長あいさつ】

令和7年度で特筆すべきことは以下のことが根付いたこと。

■「蒲中学区子どもサミット」(児童会・生徒会合同会議)

■四校一斉あいさつ運動



【伊藤蒲中校長】

蒲郡市はR8年度から市内全校で「小中一環教育を導入」します。蒲郡中学区4校は、「蒲郡中CS」として3年前に「小中一貫型コミュニティスクール」としてスタートしています。この取り組みを基盤に「蒲郡中CS」の目標である「次代の地域社会を創る主体的で想像力あふれる児童生徒を育てる」にむかい、**学校と地域のより一層の協働を生み出していきたい**と考えます。

【第3回学校運営協議会】

- 1 はじめのことば(柴田校長)
- 2 会長あいさつ(廣中会長)
- 3 代表校長あいさつ(伊藤校長)
- 4 経過報告(協働活動推進員)
- 5 協議
 - (1) R7「学教評価」について
 - (2) R8「学校経営方針」について
 - (3) 「あいさつチーム」について
- 6 しゃべり場 「次年度へ繋ぐバトン」
- 7 連絡
- 8 おわりのことば(遠山校長)

四校一斉あいさつ運動



「学校がんばってください」と声をかけたら「ありがとう」って返してくれた。嬉しかった。

あいさつを返してくれるととても嬉しかった。心がほっこりした。

中学生のお兄さんが自分から大きな声であいさつしていた。かっこよかった。

あいさつ運動に参加できてよかった。卒業してからもみんなで参加したい。

地域の人やPTAの会長さん、総代さんが一緒に参加してくれた。人とのつながりが増えたように感じる。

小学生と一緒にあいさつをした。大きな声であいさつができた。蒲郡で盛り上げている感じ。

協議題1 【学校評価】について

【中学校の結果】 生徒調査 ★大きく増加した項目 ●「課題の解決に向けて自分で考え取り組んでいた」 ●「地域や社会に貢献したい気持ちがある」 保護者調査 ★過去最高の割合 ●「楽しく学校に通っている」	★気になる項目 ●「失敗を恐れず挑戦している」 ★気になる項目 ●「あいさつ」についての項目
--	---

主体的な学びを意識した授業づくりや地域の方々とかかわり、地域のことを知る機会をより多く設けたことで、自分たちが地域や社会の一員であるという自覚を高めることができた。

新しいことや難しいことにチャレンジしたり、活躍できたりする機会を今後も意図的に設けていきたい。

【小学校の結果】 児童調査 ★高い数値の項目 ●「自分の考えを発表している」 保護者調査 ★大きく伸びた項目 ●「地域に開かれた学校づくり」 ●「まちぐるみで子どもを育てていく」	★気になる項目 ●「あいさつ」についての項目
---	---------------------------

子どもたちは、授業に対して、やりがいをもって楽しく学ぶことができていると感じる。

失敗を恐れず、様々な場面で自分の考えを表現する機会をより多く設定しつつ、そのがんばりを適切に評価し、価値づけていく教師、保護者、地域の支えが必要だと感じた。

【学校評価アンケート結果についての主な質疑・応答】

- 問い 中学校にお聞きしたい。授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいくことが大切だと考える。授業づくりの中でどのようなことに心がけているのか教えていただきたい。
- 応答 授業作りの中で特に大切にしたいと考えていることは「単元を貫く問いづくり」です。子どもたちが「もっと調べたい」「知りたい」「もっとこのことをその人に伝えたい」と思うような「課題づくり」「問いづくり」というのを心がけている。

協議題2 【令和8年度学校運営の基本方針】について

【蒲郡中】 3つの柱 「自分づくり」「友だちづくり」「地域づくり」 <単元を貫く問い> 「生徒が主人公」となる 授業づくり 環境づくり(生徒、職員の負担減) 「総合」「特活」のカリキュラムの見直し 「定時退校日の設定」「会議の見直し」 【蒲郡中】R8 学校運営基本方針重点
--



【伊藤蒲中学校長】

主体的な学びを生み出し、生徒自身が主人公となりとことん追究することのできる教育活動、授業創りをしていきたい。

【蒲南小】 教育活動づくりの重点 問題解決学習の重視 重点努力目標 ■ 「あ・は・は運動」 ■ 一人一人の子供のよさを信じて伸ばす「授業や行事」づくり ■ 保護者や地域の協力による「教育の質の向上」 【蒲南小】R8 学校運営基本方針重点



【遠山蒲南中学校長】

学びを学校だけで閉じず、地域に出ていくことで、学びが発展する。地域と一緒に子どもの育ちを支えていきたい。

【蒲東小】 **<課題>**
 ▼自分の気持ちや考えを
 進んで表現する力の弱さ
 ▼自己肯定感の低さ

<重点課題>

①表現力、語彙力、および表現スキルを
 獲得する機会と支援の充実

②表現活動を支える
 温かい人間関係、学習環境づくり

③子どもの自己肯定感を高める支援や機会の確保

★ 幼保との連携

【蒲東小】R8 学校運営基本方針重点



【小島蒲東校長】

日常的に継続して取り組める活動に力を入れたい。子どもの成長を促すために保護者・地域と一体となって取り組みたい。

【竹島小】 **<重点課題>**

かかわり
 「自分づくり」
 協働 自ら考え 探求
 基礎学力の定着

★多様な考えを認め合う
 ★自己を知る

「地域づくり」 地域とかかわり、思いや願いをもって行動する子

【竹島小】R8 学校運営基本方針重点



【柴田竹島校長】

地域の方にクラブ活動、教科学習で見守り等にご支援いただいた。保護者・地域と一緒に子どもたちの育ちを見守りたい。

【学校運営の基本方針についての主な質疑・応答】

- 問い 小小連携というのは、具体的にどのようなことを想定されているのか。
- 応答 お互いの教育活動を知ることから始めている。各学校で学校紹介動画をつくり、3校で見合う活動をした。次年度は教員同士の交流を含め、さらに小小連携を強化していこうと思っている。
- 問い 子どもの学びが地域に広がっていると感じているが、地域と協働していく学びをどの場面(教科・領域)で生み出していこうと考えているのか。
- 応答 地域に出る学びのほうかとことん追究する課題が作りやすいと思う。とことん追及する学びを「教科・領域」のあらゆる場面で生み出していこうと考えている。特に、小学校では「生活科」「総合的な学習の時間」がそのフィールドになるかなと考えています。また、「教科」の授業でも地域課題を取り上げたり、地域と協働する、地域に発信するなどの活動が考えられます。

協議題3 【あいさつチームの編成】について

蒲郡中学校伊藤校長より以下の提案があり、了承されました。

【あいさつチーム】の代表を引き受けていただきました。

【あいさつチームについて】

- ①学校運営協議会内に「あいさつチーム」を4月から立ち上げたい。
- ②学校運営協議会委員を中心に希望者で編成したい。
- ③「四校あいさつ運動」や「各校のあいさつ運動」等への参加から始める。
- ④代表を選出し、チームの運営・活動を進める。
- ⑤学校運営協議会発の自主的な活動として位置づける。



【水野推進員】

【廣中会長あいさつ】 あいさつ運動は蒲中 CS の大きな成果

これで「蒲中学区小中一貫型CS」がスタートして3年が終わる。
 「あいさつ運動」が、この「蒲中CS」における大きな成果の一つだと思う。この小中と地域協働の活動を継続し、「地域とともにある学校づくり」がさらに本物にして欲しいと思う。

皆様の力を結集してこの学区がさらに「あいさつのしっかりした、大変気持ちのいい学区」になるように学校と地域が協働していただきたい。

また、令和8年度は、蒲郡中の80周年事業、市学習指導研究会が計画されています。

これをチャンスととらえ、地域とともにある学校、小中一貫型CSの3年間の成果を発信し、市内をリードしていただくことを期待しています。



【廣中会長】

テーマ **次年度へ繋ぐバトン**

ー協力から「協働」へ
学校を核にした「まち」づくりへー

学校（地域）と一緒に取り組むと
おもしろいことを出し合おう

学校の先生たちが「おもしろそうだ」
「授業に組み込んでみよう」

地域が「おもしろそうだ」
「やってみたい」「やれそうだ」

- 学校運営協議会委員、学校の先生、保護者、地域の方が「子どもの状況や願う姿」を語り合う会（子どもサミットと学校運営協議会の交流会）
- 「高校生や大学生」に「蒲郡中学校に期待すること」を聞く会、先輩の話を聞く会の企画
- 「町の探検倶楽部」の創設
- 子ども食堂への参画
(演奏会、出し物、学びの発表等)
- 町のクイズ王選手権（学校や地域の問題を問題に）
- 各種飲食店との「コラボメニューの協働開発」



- 学区内フォトコンテスト
- 蒲郡うどんや油菓子づくり家庭科で取り上げる（地元の食を学ぶ）、B級グルメ大会に出店
- 企業と学校のコラボ企画の創設
(CSの中に「企業+学校部会」の創設)
- 東港地区開発にかかわる協働企画
(ベンチや遊具づくり)
- 「地元の歴史」を学ぶ授業（繊維、観光、蜜柑等）

■ アジア大会をチャンスにした学びの場の創造

※「アジアの国を知ろう」「アジアの遊びや食の追究」「人と交流しよう」「蒲郡や日本を紹介しよう」等

■ 学区内歴史散歩や名所散歩（地域と学校の協働企画）

■ 防災キャンプや運動場での宿泊体験や星空観察会

※一部抜粋（全意見は蒲中に掲示してあります）

一緒に授業創りませんか

